

# 新水晶体等価線量限度 適用に関する課題 (審議会での説明抜粋)

横山 須美

藤田保健衛生大学

# 当面の課題

- 水晶体の等価線量が高いまたは著しい不均等被ばくをともなう可能性のある従事者の水晶体被ばくの実態把握
  - 福島第一原子力発電所の従事者
  - IVRに携わる医療従事者
  - \* その他の従事者についても実態把握は必要 (追加)
- 適切な水晶体等価線量モニタリング方法の確立
- 高線量被ばく従事者の水晶体被ばく低減 (追加)

# わが国における中長期的課題

- 放射線防護に関する教育  
水晶体の放射線影響、線量評価・防護に関する知識の普及と防護文化の浸透。
- 放射線防護、教育、検査員等の人材育成  
水晶体の被ばく・防護、線量管理、白内障検査要員等の育成・確保。